

## 令和4年度性暴力対策アドバイザー派遣事業の状況について

## 1 令和4年度全校実施状況について

## (1) 派遣実績

公立				私立			その他	計
小学校 高学年	中学校	高等学校	特支	小学校 高学年	中学校	高等学校		
354	106	37	10	—	—	2	6	515

・派遣アドバイザー数：67名

## (2) アンケート結果概要【暫定版】

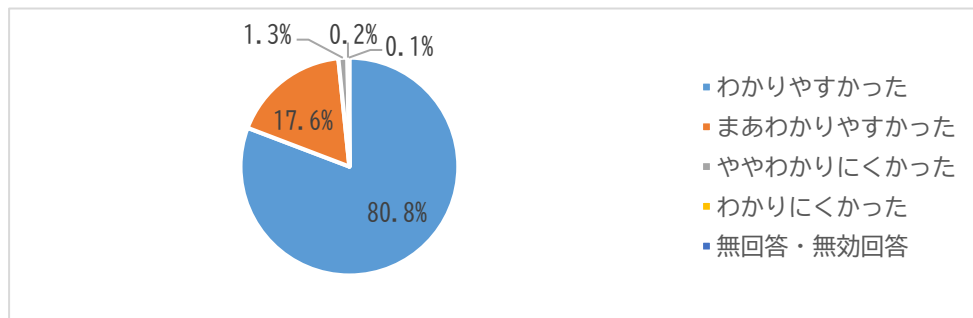
- ・アンケート依頼校数：57校
- ・回答校数：50校（※令和5年3月22日現在）

公立			私立	計
小学校高学年	中学校	高等学校	高等学校	
40	7	2	1	50

## 【小学校高学年】（回答者数3,873人）

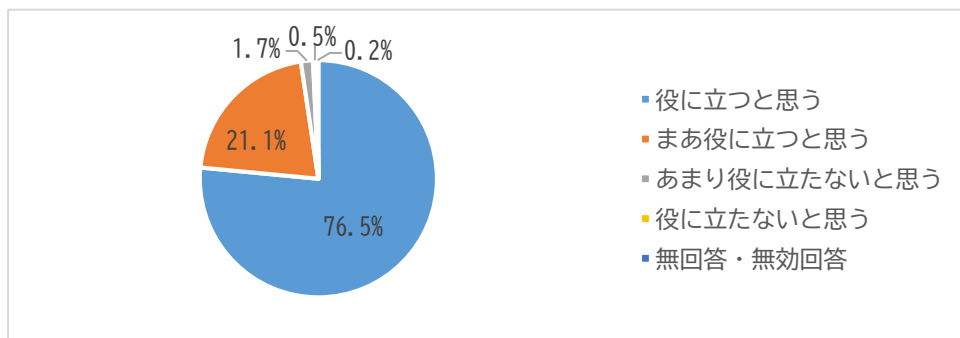
## ①授業の内容は、わかりやすかったですか（あてはまるものに○）

・約98%が、わかりやすかった・まあわかりやすかったと回答



## ②これからの生活に役に立つと思えましたか（あてはまるものに○）

・約98%が、役に立つと思う・まあ役に立つと思うと回答

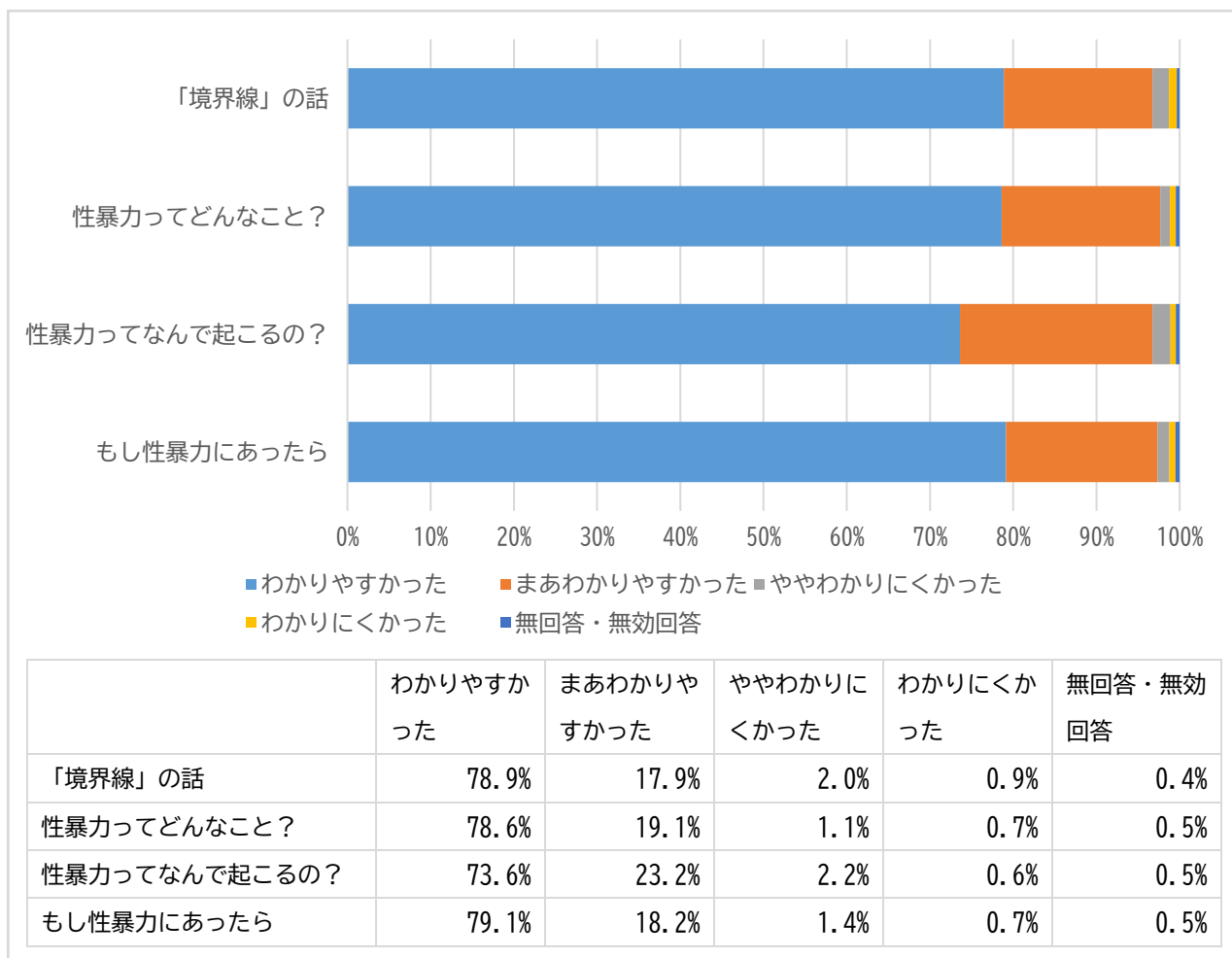


【中学校】（回答者数 1,935 人）

①授業の内容は、わかりやすかったですか。次の項目それぞれについて教えてください。

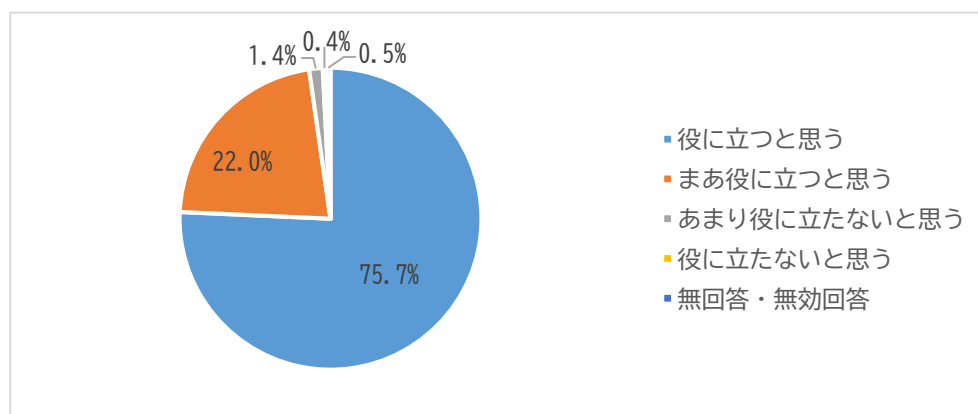
（あてはまるものに○）

・全ての項目で、96%以上がわかりやすかった・まあわかりやすかったと回答。



②これからの生活に役に立つと思いませんか（あてはまるものに○）

・約98%が、役に立つと思う・まあ役に立つと思うと回答

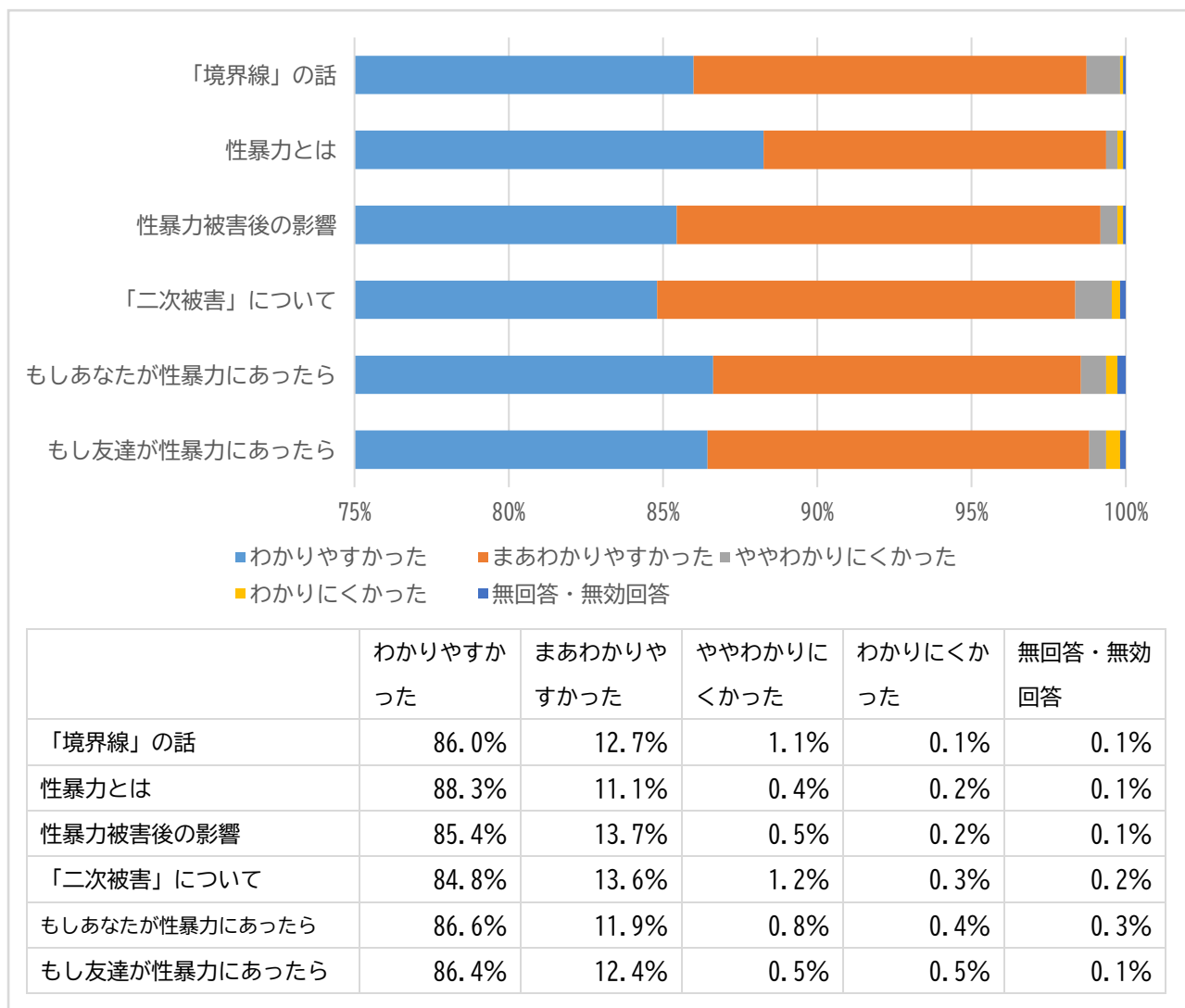


【高等学校】（回答者数：1,099人）

①授業の内容は、わかりやすかったですか。次の項目それぞれについて教えてください。

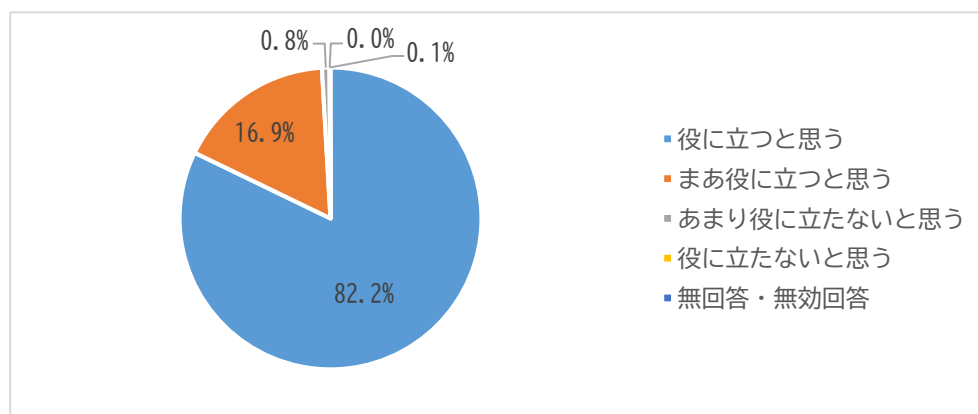
（あてはまるものに○）

・全ての項目で、98%以上がわかりやすかった・まあわかりやすかったと回答。



②これからの生活に役に立つと思えましたか（あてはまるものに○）

・約99%が、役に立つと思う・まあ役に立つと思うと回答



## 2 オンライン説明会方式による事前打合せの試行結果について

- ・資料1-2のとおり

## 3 性暴力対策アドバイザースキルアップ研修及び意見交換会について

### (1) 開催概要

- ・開催日時：令和5年2月25日（土）13:00～16:00
- ・参加人数：42名
- ・実施形態：オンライン
- ・内容

	内容	備考
講義1	福岡県性暴力根絶条例について	説明者：生活安全課
講義2	性暴力対策アドバイザーの講義に係る基本事項について	講師：福岡県性暴力対策アドバイザー 久世 大介 氏
意見交換会	テーマ1 「ワークでの対応について」 テーマ2 「全校一斉授業／オンライン配信授業における工夫について」	経験回数を基にグループ分けを行い、グループ内で意見交換を実施
全体発表	意見交換において各グループで出た意見の共有	授業中に困ったことやその対応について全体で共有

### (2) アンケート結果概要

- ・アンケート対象者数：42名
- ・回答数：40名

#### 【各研修内容について】

- ・全ての項目で、全員が「参考になった」「やや参考になった」と回答。

	参考になった	やや参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
講義1	85.0%	15.0%	0%	0%
講義2	87.5%	12.5%	0%	0%
意見交換	90.0%	10.0%	0%	0%
全体発表	77.5%	22.5%	0%	0%

#### 【研修全体についての感想】（一部抜粋）

- ・講義形式で知識を得ることも大切であると感じた。
- ・意見交換会において、授業の中で困ったことに対する考え方や対応策などが共有でき、次年度に向けての心の準備ができた。

- ・アドバイザーは1人仕事になるため、こういった共有の場は重要であると感じた。
- ・様々なアドバイザーの意見を聞くことができ、大変参考になった。
- ・難しい対応の際にアドバイザーが孤立しないことが大事だと思った。
- ・このような研修の機会を定期的に設けてほしい。

【次回の研修で取り扱ってほしい内容】（一部抜粋）

- ・授業における工夫（言葉遣い、机間巡視等、時間配分等）、ワーク中のアイデア
- ・事前打合せがオンライン説明会方式に切り替わったことによる工夫。
- ・ケース検討（具体的に困った質問、場面などを設定）。
- ・アンケートのフィードバックも含めた講義実施後の状況。
- ・本講義に対する学校の要望や意見。
- ・テキストに対するアドバイザーの意見。
- ・性暴力被害者支援センター・ふくおかの事業内容や加害者支援の内容。
- ・性暴力被害者支援センターにどのような相談がきているのか、授業後に相談につながったケースがあるのか。
- ・アドバイザー同士のつながりを作ってほしい。

（3）スキルアップ研修を通して出た本事業の課題と今後の対応について

	課題	今後の対応
全体発表	被害児童の有無を学校が把握していない場合がある。	オンライン説明会において、学校に対し「要配慮児童・生徒」を把握していない場合でも、当該児童・生徒がいる前提で講義に係る準備を行うよう注意喚起する。 また、アドバイザーに対しても、講義を実施する際には、常に当該児童・生徒がいることを念頭におく必要性について再度周知を図る。
アンケート	授業後のフィードバックがない。	アンケート結果等について、適宜アドバイザーに情報提供する。
アンケート	アドバイザーの経験の共有の場が少ない。難しい対応の場合、アドバイザーが孤立する可能性がある。	引き続き、スキルアップ研修及び意見交換会の場を設ける。